

第2回 コロナ禍の偏見と差別を考える

コロナ禍を通じて、偏見と差別が蔓延し、この社会は大きく変容しました。それから2年近くが経ち、私たちはこの経験をしっかりと教訓化できているのでしょうか。オミクロン株の登場によって、再び、隔離・規制優先の社会が到来しつつあります。2021年5月、はじめて本会を開催し、医療従事者、メディア、学校関係者と共に、偏った報道や情報をもたらす人権侵害の問題について考えました。第2回では、医療、福祉、メディアの方々と共に、改めてこの問題を考え、多職種・多領域の連携の在り方を模索してみます。

2022年1月25日（火）

参加費無料
事前申込制

時間：18時30分～20時（開場：18時00分）

場所：静岡市立静岡病院西館12階講堂（病院有料駐車場利用可）

【発言】

医療現場から
福祉現場から
報道現場から

静岡厚生病院小児科医
特別養護老人ホームなごみ介護主任
静岡第一テレビ

田中敏博さん
菅野貴子さん
望月一弘さん

※本会は、オンライン（Zoom）を併用します。参加を希望される方は、下記URLもしくは右記QRコードのGoogle Formより申し込んでください。なお、現地参加の方も、人数把握のため、申し込みを必ずお願い致します。<https://forms.gle/DnqSGHFFAi4U7x5h9>



主催：コロナ禍における偏見と差別を考える会・静岡（荘司貴代・岩井一也・山本崇記）
共催：静岡市立静岡病院

問合せ：054-238-4500, yamamoto.takanori@shizuoka.ac.jp（静岡大学 山本崇記）